

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校

令和5年2月6日発行 No.13

文責：校長 山中 茂生



学校 HP は
こちら



2月になりました

2月4日（土）に立春を迎え、暦の上では春がやって来ました。まだまだ寒さは続きそうですが、春が近づいてきたということで、少し気持ちが明るくなりそうですね。

今年度も登校する日数が、今日を入れて6年生はあと30日、1～5年生は33日となりました。次の学年に向けて、子どもたちにしっかりと力をつけていきたいと思います。



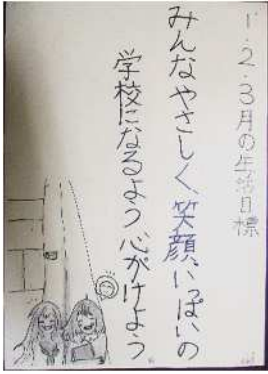
大なわ記録会を開催しました！

昨年度は感染症の影響で中止になり、今年度も当初の予定日が雪の影響で実施できずに延期になっていた「大なわ記録会」を2月1日（水）に開催しました。

早い学級は2学期から練習に取り組み、この日のためにみんなで力を合わせて記録を縮めようと努力してきました。本番では、みんなが声をそろえて一回でも多く跳ぼうと頑張る姿が印象的でした。目標を達成できたクラス、残念ながらあと少しで達成できなかったクラスなどいろいろありましたが、心を一つにして頑張ってきたこれまでの努力は、子どもたちみんなが成長していくための大きな糧になることでしょう。



3 学期の生活目標



児童会の子どもたちが3学期の生活目標を考えてくれました。

「みんなやさしく、笑顔いっぱいの学校になるよう心がけよう」

羽津北小学校では、子どもたちにはもちろん、教職員にも心理的安全性を確保することを大切にしています。誰もが安心して自分の思いや考えを誰にでも話すことができる環境を作るようにしています。

子どもたちが考えたこの目標は、学校全体が、心理的安全性の確保された空間になることにつながるものだと思います。

人と接するときには笑顔ひとつ出せば、相手は一気に安心感を得られます。また、気分がすぐれない時でも自分で笑顔を作ること、気持ち晴れやかになることもあります。

羽津北小が笑顔で満ち溢れ、みんなが幸せを感じることができる場所にしていきたいと思っています。

第4回けやき委員会を開催しました



1月27日（金）に第4回けやき委員会（コミュニティスクール運営協議会委員会）を開催しました。

本来であれば、大なわ記録会を参観していただく予定でした。しかし、直前の大雪の影響で、運動場の状態が良くなかったこと、また、結果的に雨も降ってきたため記録会は延期になりました。1・6年生の大なわ記録会の練習や、各教室の授業の様子を

見ていただいき、学校運営について講評をいただきました。

委員の皆様からは、次のようなご意見・ご感想をいただきました。

「6年生が1年生の前で大なわを跳ぶ様子を見せるのは、とってもいい取り組みだと思う」

「1年生には6年生のすごさが伝わるし、6年生の自信につながる」

「ひまわり学級の図工の授業を見たが、私たち地域住民がボランティアで参加してみたい」

「3年生が授業の中で、お隣の子と話し合う場面を見たが、このような活動は子どもたちには必要だと思うので、感染症が落ち着いてきてよかったと思う」

「4年生が将来の夢についての授業をしていて、子どもたちも積極的に自分の意見を言うことができていてよかった」

「授業中、誰もいない教室で、きちんと整頓されている学級とそうでない学級があったので統一した方がよいと思う」

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。よりよい学校づくりのために生かさせていただきます。



交通ルールを守りましょう！

先日、市内で自転車に乗っていた児童が尊い命を奪われるという痛ましい交通事故が発生しました。羽津北地区でヘルメットを被らずに自転車に乗っている児童の姿を放課後などに多く見かけます。大切な命を守るために自転車に乗るときにはヘルメットを被り、交通ルールを守って安全に気を付けるよう、ご家庭でもご指導の程、よろしくお願いします。